

八重山の心 島唄の世界

沖縄県の無形文化財「八重山古典民謡」

〔出演者〕

宮良 康正

山本 藍

〔演奏曲〕

安里屋ゆんた

月ぬ美しや

とうばらーま 他



2013 年

6/22 土

開場 / 13 時 30 分
開演 / 14 時

場所 / 四万十市立中央公民館 2階 大ホール

●チケット: 一般 / 2,000 円 (当日 2,500 円)
高校生以下 / 無料

■主催/四万十川国際音楽祭実行委員会 (TEL 0880-34-7311)

■共催/高知県立美術館

■後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・産経新聞社高知支局・日本経済新聞社高知支局・RKC高知放送(予定) NHK高知放送局・KSSさんサンテレビ・エフエム高知・KUTVテレビ高知・中村ロータリークラブ・四万十ロータリークラブ・四万十ライオンズクラブ・国際ソロプチミスト幡多・中村青年会議所・中村商工会議所



沖縄県の無形文化財「八重山古典民謡」

八重山の心—島唄の世界

日時 2013年 6月22日(土)

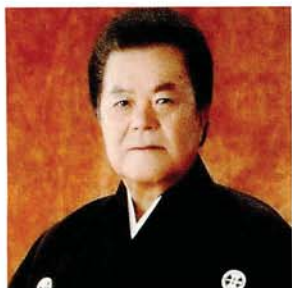
開場 / 13時30分 開演 / 14時

場所 四万十市立中央公民館 2階 大ホール

八重山民謡は、沖縄民謡・宮古民謡とならぶ沖縄地方の民謡で、「詩の国・歌の国」と讃えられる八重山諸島で古くから歌い継がれてきました。その音楽性の高さや量の豊かさから沖縄県内においても独特の位置を占めています。

作業歌や神歌・祝詞として古くから唄われている古謡の素朴さだけでなく、首里王府の在番が持ち込んだ三線と格式の高い音楽性が息づく数多くの節歌があります。男女の掛け合いで唄われる軽妙なユンタ（作業歌）や、男性の唄に女性の囃子が高音で入る叙情歌が特徴的です。昭和58年、「八重山古典民謡」として沖縄県の無形文化財に指定。代表曲に、高音の美しい調べが特徴的な「とぅばら一ま」などがあります。

■出演者プロフィール



宮良康正 (みやら こうせい)

1940年 与那国島に生まれる。八重山古典民謡ならびに与那国民謡の第一人者。
1969年 日比谷公会堂で行われたNHKのど自慢全国大会民謡の部で「とぅばら一ま」を歌い優勝。
1999年 八重山古典民謡保持者で沖縄県指定無形文化財に認定される。
民謡の研鑽・普及に励むと共に伝承者養成事業公演、文化庁主催芸術祭の日本民謡祭り、アジア太平洋歌と踊りの祭典、日米文化交流フロリダ公演をはじめ、自主公演、テレビ、ラジオ出演など演奏活動を幅広く行う。沖縄音楽界を担う最も重要な演奏家。



山本藍 (やまもと あい)

四万十市出身。八重山古典民謡保存会教師。2003年に沖縄へ移住し、2005年より宮良康正に師事。八重山古典民謡を学ぶとともに師匠の相方として県内外で演奏活動を行う。八重山古典民謡界の次世代を担う若手演奏家として期待されている。唄・三線のほか、ライブでは太鼓や三板（さんば）などの打楽器も演奏する。
2013年 琉球新報主催八重山古典芸能コンクール優秀賞ならびに最高賞受賞。

○チケット取り扱い所○

市立中央公民館・市立文化センター・教委西土佐事務所
総合衣料田中屋・サニーマート四万十店・アピアさつき
鈴ハイヤー・澤近画廊

[お問合せ先]

四万十川国際音楽祭実行委員会

四万十市立中央公民館内 TEL 0880-34-7311